

教育実践学会

第14回大会プログラム

2006年6月24日（土）
於 常磐大学

〈大会日程〉

9:30	受付	
10:00	自由研究発表	
	第1会場	R-001
	第2会場	R-002
	第3会場	R-003
12:20	理事会	O-315
13:20	講演1	R-001
14:50	休憩	
15:20	講演2	R-001
16:45	総会	R-001
17:00	情報交換会	R棟ホール

〈大会参加要項〉

1. 受付 : 6月24日(土) 9:30 より会場入口 (R棟入口) で行います。
2. 学会費 : 2006年度会費は、5000円です。
(2005年度以前の会費未納の方は合わせてお支払い下さい。)
3. 参加費 : 800円 (発表要旨集録代含む)
会員以外の一般の方は1500円、学生は300円にて受け付けております。
4. 情報コーナー : 今大会も設けます。研究発表資料や会員の方々に配布を希望する資料等をお持ちの方は、当日受付までお持ち下さい。
若干ですが、教育書籍の展示販売も行います。
5. 情報交換会 : 常磐大学内 R棟ホールにて、会費3000円で行います。
6. 会場連絡先 : 常磐大学人間科学部 森山賢一研究室
〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430-1
TEL : 029-232-2574
Mail : kenichim@tokiwa.ac.jp
7. 昼食の必要な方は、受付でお弁当を550円にて販売いたします。
8. 駐車場について : キャンパス配置図にある学生駐車場を利用してください。

自由研究発表 1 10:00 ~ 12:00 (R-001)

司会 瀬尾 京子 (常磐大学非常勤講師)

10:00

「生活科」・「総合的な学習の時間」のカリキュラムモデルの検討

森山 賢一 (常磐大学人間科学部)

10:30

総合学習におけるお手玉の活用と教材化
ー子どもの学習意欲を高める視点からー

千葉 雄司 (慶応義塾幼稚舎)

森山 賢一 (常磐大学人間科学部)

11:00

ドイツ教育学における「コミュニケーション的行為の理論」の理論的受容にみられる
「相互性」概念の変化
ーモレンハウアーとマッシュェラインに着目してー

藤井 佳世 (鎌倉女子大学/常磐大学非常勤講師)

自由研究発表 2 10:00 ~ 12:00 (R-002)

司会 田沼 政志 (茨城県教育研修センター)

10:00

適応指導教室(教育支援センター)の整備・運営・課題について(茨城県Y市の例)

伊東 健 (常磐大学講師)

10:30

好ましい人間関係を育てる生徒指導の在り方

辻井 浩一 (稲敷市立浮島小学校)

11:00

子どもの真実の声を聴く ー子ども心の琴線に触れるー

柏 頼英 (常磐大学講師・学校心理士)

11:30

叙述を基に想像しながら読む能力を育てる国語科学習の在り方

篠崎 みどり (常総市立水海道小学校)

自由研究発表 3 10:00 ~ 12:00 (R-003)

司会 新妻 和生 (茨城大学教育学部)

10:00

中学校選択数学「RSA暗号の教材化」

小池 浩一 (常陸大宮市立第二中学校)

10:30

中学校理科における仮説設定能力の育成に関する研究
ーチャレンジング・シチュエーションの設定を中心としてー

小林 和雄 (龍ヶ崎市立城南中学校)

11:00

「ものづくり」を活かした単元構造ー「てことものの重さ」における天秤づくりを通してー

宮本 直樹 (阿見町立本郷小学校)

11:30

児童の考えを広げたり深めたりする算数的表現力を育てる算数科学習指導の在り方

関 美智子 (つくば市立手代木南小学校)

理事会 12:20 ~ 13:00 (O-315)

講演 1 13:20 ~ 14:50 (R-001)

「学校カウンセリングの理論と実践 ー学校心理学の視点からー」

講演 跡見学園女子大学教授 山口 豊一

現在、学校教育が解決すべき課題は多くある。学力問題、不登校問題など緊急に解決しなくてはならない。子どもたちは、苦戦している。そして、その子どもたちをサポートする教師や保護者も苦戦している。それはなぜなのだろうか。

現代の子どもたちのニーズに、教師や保護者のサポート（援助サービス）がうまく合っていないのではないだろうか。言い換えれば、教師や保護者のサポートが効果的に機能していないのではないだろうか。

そこで、ここでは「学校心理学」の視点、つまりアセスメントを大切にする、子どものいいところに焦点を当てる、チームでサポートする、という3つのコンセプトを大切にす学校心理学の視点から、子どものサポートの在り方を理論と実践面から考えていきたい。

略歴等

跡見学園女子大学文学部臨床心理学科教授。茨城大学大学院教育学研究科学校教育専攻修了。日本学校心理学会理事・事務局長。日本教育心理学会理事。主な著書等として『ヒューマンケアに関わる人のための教育心理学』（共著）文化書房博文社 2003年。『ヒューマンケアに関わる人のために学校臨床心理学』（共著）文化書房博文社 2004年などがある。

休 憩	14:50 ~ 15:20
-----	---------------

講 演 2	15:20 ~ 16:40	(R-001)
-------	---------------	---------

「カリキュラムの開発とマネジメント感覚
—小中一貫教育の取り組みをもとに—」

講演 千葉大学教育学部教授 天 笠 茂

研究開発学校による取り組み、教育特区における様々な試み、それぞれの地域・学校の裁量による特色づくりをめぐる様々な動きなどにみられるように、カリキュラム開発は新しい段階を迎えることになった。その中には、小・中一貫を掲げ、両者の接続をはかり、4・3・2とか、4・5、あるいは、5・4などに学年を区分する新たなカリキュラムの開発を推進する動きも存在する。

これらの取り組みには、いかなる意義と課題が存在しているかを指摘するとともに、小学校と中学校が連携してカリキュラム開発をはかるにあたって、その促進および阻害条件を探ることにしたい。

略歴等

千葉大学教育学部教授。学校経営、カリキュラムマネジメントなどを専攻。

筑波大学大学院研究科博士課程単位取得退学。日本教育経営学会理事。日本カリキュラム学会会員。文部科学省教育研究企画協力者会議委員。千葉県教育委員。主な著書として、『スクールリーダーとしての主任』 東洋館出版社 1998年。『学校経営の戦略と手法』 ぎょうせい 2006年

総 会	16:45 ~ 17:00	(R-001)
-----	---------------	---------

司 会 金藤 ふゆ子 (常磐大学 人間科学部)

挨 拶 高久 清吉 (筑波大学・茨城大学名誉教授)
(教育実践学会会長)

情 報 交 換 会	17:00 ~ 18:40	(R棟ホール)
-----------	---------------	---------

司 会 藤田 文子 (茨城大学 教育学部)

挨 拶 菊池 龍三郎 (茨城大学学長 教育実践学会副会長)